

1-Q-43

極限法を用いた垂直パニングの有効高さの上側閾値測定

Upper threshold measurement of effective height of vertical panning by using the method of limits

○木村敏幸(東北学院大)

- ◆我々はこれまでに大画面ディスプレイに適合した立体音響技術 (Multiple Vertical Panning) を提案してきた。この技術は垂直パニングを利用しているが、垂直パニングが発生する条件やどのようにして発生するのかに関しては未だに解明されていない点が多い。
- ◆本報告では、垂直パニングが有効に作用する視聴高さの上側閾値を極限法によって測定し、有効高さの上側閾値が実験条件によってどのように変化するかを検証した。その結果、Fig. 1 に示すように、白色雑音よりも音声を用いた場合や、音と同時に映像を提示した場合の方が有効高さの上側閾値がより高くなり、ディスプレイのより上方で垂直パニングが作用していることが分かった。

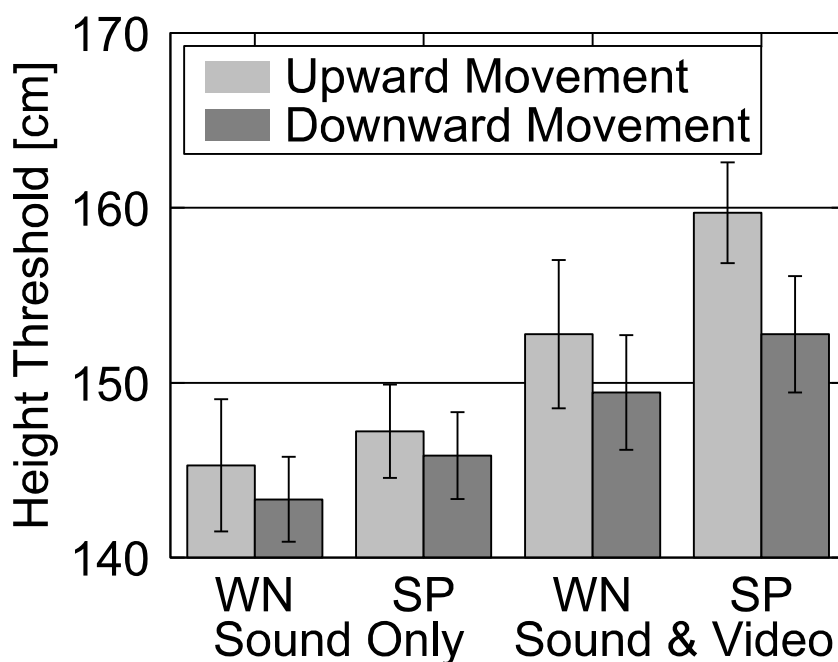


Fig.1 : Results of the audio-visual experiment.

(Error bar: 95% confidential interval)